

## 令和6年度 第2回 佐倉市認知症対策検討会 要録

日 時：令和7年2月3日（月）19時～20時

方 法：会場出席とオンラインの併用方式による

場 所：（事務局）佐倉市役所 社会福祉センター地下会議室

出席委員 （50音順）	麻生委員、内海委員、大内委員、大木委員、尾形委員、片桐委員、北原委員、志津委員、下原委員、高橋（一）委員、原田委員、廣岡委員、森委員、森本委員
欠席委員	5名（三嶋委員、四方田委員、橋本委員、飯村委員、中村委員）
事務局	山本福祉部長、島村健康推進部長、滋野高齢者福祉課長（事務局長）、小林介護保険課長、辻口健康推進課長 開出副主幹、岡本主査、岩本主査
その他	傍聴者なし

発言者	内 容
○事務局	（開会） 委員19名中出席が半数以上のため、高齢者福祉・介護保険計画推進懇話会設置要綱第7条の規定により会議成立。
○事務局	（委員の委嘱） 委員に異動があったため後任の委員1名に委嘱状を交付。任期は、前任者の残期間である令和7年2月1日より同年3月31日。
○事務局	（会議の公開）
○事務局	議題2について会議を非公開、会議録については要録とし、非公開部分を除いて公開してよろしいか。
◇全委員	異議なし。
○事務局	議題2を非公開とし、議事録は要録とする。
◇会長	令和6年度第2回目の認知症対策検討会を開催します。
	傍聴人確認 傍聴人なし
	（議題1「佐倉市第9期高齢者福祉・介護計画における認知症施策

発言者	内 容
	の令和6年度の取り組み実績)」
○事務局	令和6年度の取り組み及び実績について、「資料1」「資料1別紙」に沿って事務局から報告。
◇会長	意見、質問はあるか。
◇A 委員	「予防」の取り組みの「脳とからだの元気力測定会」参加者のうち、支援が必要となるのは何パーセントか。
○事務局	約1割程度。
◇A 委員	参加者は物忘れを自覚している人が多いか、それとも自覚なく予想外の結果が出て、支援につながった人が多いか。
○事務局	参加者は、概ね現在の能力を試したいという場合が多い。結果が良くない場合は社会参加によって改善を図れるよう地域包括支援センターを紹介または、専門医による物忘れ相談等につないでいる。
◇A 委員	認知症も身体症状と同様に早期治療、介入が必要。しかし長年経過してから医療機関につながる事例もある。市の健診で認知症のスクリーニング取り入れる計画はないか。
○事務局	現時点では予定はない。健診後の精密検査を受けられる医療機関の状況も含め、今後研究、検討を行っていく。
◇B 委員	現在 MCI の方は精査のうえ点滴治療できるが、脳とからだの元気力測定を通じて治療につながった方はいるか。そこが重要。
○事務局	測定会から MCI 等の診断につながった方は、把握している限りにおいてははない。物忘れ相談から MCI の早期治療につながった例は昨年報告あり。
◇C 委員	認知症サポーター養成講座で児童生徒の理解についてアンケート調査等を行っているか。どのような点で理解が進んだか把握することで、事業のアピールの一助にできる。他の事業においても同様ではないか。
◇D 委員	認知症のスクリーニングは難しいと感じる。アルツハイマー型、脳

発言者	内 容
○事務局	<p>血管型で確度が異なり、スクリーニングで MMSE 高得点でも実際は会話や判断が困難な状態ということもある。またあまりに早期から検査対象にすると、加齢性変化の事例も多くなる。</p> <p>測定会で用いている「のう KNOW」はどのようなものか。</p> <p>(株) エーザイが提供している脳の健康度を測定するオンラインツール。パソコン、タブレット、スマートホンの画面でトランプの絵柄を見ながら、反応速度、注意力、視覚学習、記憶力をゲーム感覚でテストし、同年代と比較した場合の現在のブレインパフォーマンス(脳の健康度)がわかるというもの。</p> <p>もとは海外で開発され、データ検証もされており、国内では健診の一部として取り扱っているところもある。健診として導入しているところからはフォローアップをどう行うか、低い結果が出た人をどこまで追うのかが課題と聞いている。</p> <p>(議題 2 「認知症初期集中支援チームの活動報告」) 議事非公開</p> <p>(議題 3 「その他」)</p>
○事務局	<p>令和 7 年 3 月 31 日をもって委員の任期が満了となる。委員の皆様には佐倉市の認知症施策の推進に力添えいただき感謝申し上げます。</p>
◇会長	<p>委員の皆さまからほか、意見はあるか。</p> <p>なければ、これにて議事進行を終了する。</p>
○事務局	<p>これにて令和 6 年度第 2 回認知症対策検討会を終了する。</p> <p>(閉会)</p>